

2015年度 浦安市協働提案事業 「浦安景観まちづくり実践講座」大学生向 「住環境の景観を探す」が開催されました

9月27日（日曜日）2015年度 浦安市協働提案事業「浦安景観まちづくり実践講座」大学生向「住環境の景観を探す」が開催された。

残念ながら申し込みが4名で、当日参加されたのは3名でしたが、2名は浦安の大学に通う3年生で、戸建住宅地の街並みを勉強したい、もう1名は、住宅地の課題を探ることが目的で参加されました。もう1名は専門学校に通い建築とまちづくりを学んでいる学生さんで、皆さん目的意識が高かったです。

午前中は、中町・新町地域の計画的に開発された戸建住宅地、低層集合住宅、中高層集合住宅、超高層集合住宅地まで、それぞれの住環境の違いを探しました。



■まち歩きの結果

最初に美浜4丁目と美浜3丁目の戸建て地区では、駐車場の設け方により街並みの緑の見え方の違いや宅内電柱の震災時の問題、美浜西エステートでは、駐車場の車の見え方やモニュメントについて、エアレジデンス新浦安では公開空地なのに外部の人があまり利用していない。入船東エステートでは、大規模修繕による外壁の色彩改修について、入船北エステートでは、集合住宅と戸建感覚の住環境の良さを感じる。入船4丁目の用途混在地区を南に進み、碧浜に、ここではシマトネリコの大木を当初から植栽している緑の多い街並みを実感する。シーガーデン新浦安では、最近のクローズマンションの実態と、道路沿いに高層建物が建ち並び景観を実感する。最後にジ・アイルズの最近の街区か

らリゾート風の街並みを見て、バスで、新浦安駅まで戻りました。



■ワークショップ

午後は、フォーラムの浅川が午前中歩いた戸建てから超高層までの浦安の住環境の概要について説明し、特に碧浜については開発事業者のコンセプトシートや当初のモデルプランと内観写真を用いて説明しました。その後、まち歩きで撮影した写真をプリントしたものを見ながら、良い景観と改善したい景観の写真を選び、コメントを書き込んでもらいました。街並み、建物、緑その他に大きく分類し、3人が選んだ景観について説明してもらいました。学生は、ポジティブな見方をしているのか、改善したい景観より良い景観を評価する方が多かったです。

学生のコメントをいくつか紹介すると、エアレジデンス新浦安の公開空地に水が流れて大変良いガーデンができていのに、市民の方がくつろいでいる姿もなく、もったいない空間になっている。交差点の角部分が公園（ポケットパークなど）になっていて、休んだりできるのでよかった。宅地内に電柱があるのは良いが、震災時にトラブルが多く発生したと聞いた。やはり、電線を地下に埋めればよい。入船北エステートは、戸建て感覚ながら集合住宅の良いところ、戸建ての良いところをうまく活かしていてよかった。大規模開発で画一的な姿を想像していたが、開発会社のカラーが出ていて、様々なニーズに応えられるまちづくりになっていた。など

以上